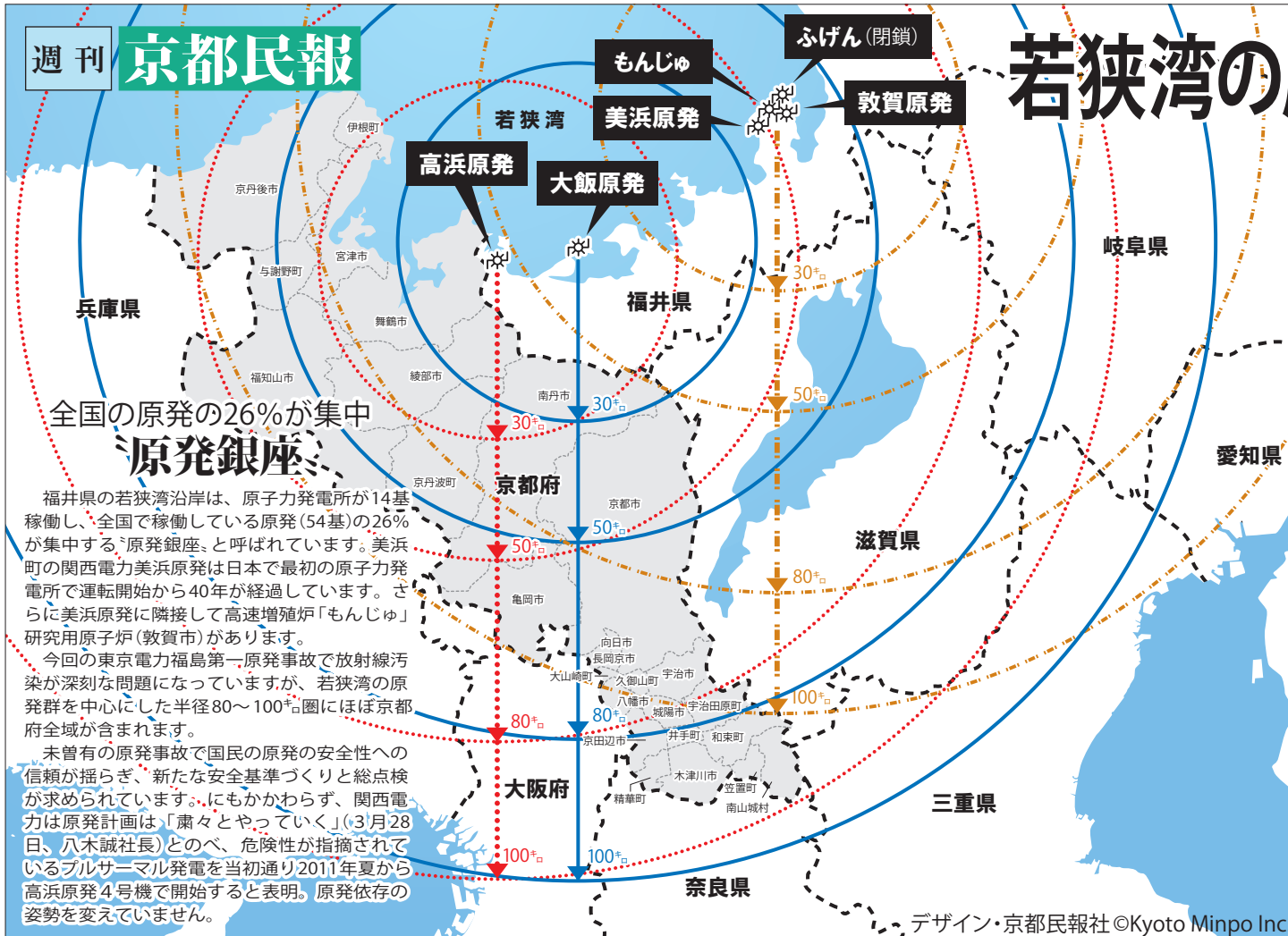


若狭湾の原子力発電所

稼働14基
計画中2基



全国の原発の26%が集中
原発銀座

福井県の若狭湾沿岸は、原子力発電所が14基稼働し、全国で稼働している原発(54基)の26%が集中する「原発銀座」と呼ばれています。美浜町の関西電力美浜原発は日本で最初の原子力発電所で運転開始から40年が経過しています。さらに美浜原発に隣接して高速増殖炉「もんじゅ」研究用原子炉(敦賀市)があります。

今回の東京電力福島第一原発事故で放射線汚染が深刻な問題になっていますが、若狭湾の原発群を中心とした半径80~100km圏にほぼ京都府全域が含まれます。

未曾有の原発事故で国民の原発の安全性への信頼が揺らぎ、新たな安全基準づくりと総点検が求められています。にもかかわらず、関西電力は原発計画は「粛々とやっていく」(3月28日、八木誠社長)とのべ、危険性が指摘されているプルサーマル発電を当初通り2011年夏から高浜原発4号機で開始すると表明。原発依存の姿勢を変えていません。

ただちに総点検を

関西電力

高浜原発

- 82.6万kWh 1974年~
- 82.6万kWh 1975年~
- 87万kWh 1985年~
- 87万kWh 1985年~

大飯原発

- 117.5万kWh 1979年~
- 117.5万kWh 1979年~
- 118万kWh 1991年~
- 118万kWh 1993年~

*大飯のプルサーマルは、4基のうち1~2基を予定

美浜原発

- 34万kWh 1970年~(※運転開始40年超)
- 50万kWh 1972年~
- 82.6万kWh 1976年~

日本原子力発電

敦賀原発

- 35.7万kWh 1970年~(※運転開始40年超) 沸騰水型軽水炉
- 116万kWh 1987年~
- 154万kWh 2016年(計画中)
- 154万kWh 2017年(計画中)

* Pはプルサーマル運転 (Pは計画)
* 敦賀原発の1基を除き他は加圧水型軽水炉(改良型含む)
* 稼働14基は「もんじゅ」を含む